

第二次世界大戦後、東京宝塚劇場は、連合国軍最高司令官総司令部（GHQ）によって接收され、1945年に沖縄で亡くなった、ピューリッツァー賞受賞者であるアメリカ人ジャーナリストの名前にちなみ、アーニー・パイル劇場と改称されました。この間、宝塚歌劇団は、日本劇場や帝国劇場などの舞台を借りて公演を続けました。1952年、小林一三は興行施設の運営権を取り戻し、劇場はその本来の名前である東京宝塚劇場に戻ることとなったのです。